

ディスコグラフィアー掲載

ディスコグラフィアー 【2019No.121】 (HP 掲載)

分類：LP

作曲家：ヨハン・シュトラウス 2 世他

曲名：ワルツ「南国のバラ」作品 388 他

演奏：リカルド・ムーティ指揮ウィーンフィル

発売：SONY

No. : 88985477321

概要：



ネット上から得られた本盤の情報を引用して転載します。

「巨匠ムーティが14年ぶりに登場！ウィーンフィルのニューイヤー・コンサート
毎年1月1日に行なわれるウィーンフィルのニューイヤー・コンサート。クラシック
音楽の中でも最も有名で、ウィーンの誇る黄金のムジークフェラインザールからTVと
ラジオを通じて世界90カ国以上に放送され、4億人が視聴するというビッグ・イベン
ト。1939年に始まる75年以上の歴史を誇るこのコンサートでは、音楽の都ウィーン
を象徴するシュトラウス一家のワルツやポルカが演奏され、その高額チケットは世界
一入手困難とされています。

2018年は、フィラデルフィア管、ミラノ・スカラ座を経て、2010年以来シカゴ響音楽
監督をつとめる巨匠リカルド・ムーティが、1993・1997・2000・2004年に次いで
14年ぶり5回目の登壇。これはマゼール以降、ズービン・メータと並ぶNYC登壇数
で、ウィーンフィル側からの信頼の証といえるでしょう。1971年ザルツブルク音楽祭
でのドニゼッティ「ドン・パスクワレ」での初共演以来、これまでウィーンフィルを

500回以上指揮し、現在最も密接な関係にあるムーティならではの、気心知れた仲にも緊張感あふれる演奏が期待できます。

ムーティについて、ウィーンフィル前楽団長アンドレアス・グロスバウアーは、「マエストロ・ムーティの指揮する演奏の極めて高い水準は、ウィーンフィルの演奏史の中でも特別なものです。マエストロの演奏解釈は楽譜を綿密に研究することで生み出されていますし、われわれウィーン・フィルの特別なサウンドを愛して下さっているのです」と称賛しています。

演奏曲目は、定番の「美しく青きドナウ」「ラコッツィ行進曲」などに加えて、2018年のさまざまなアニヴァーサリーなどテーマ性を織り込んだ多彩な作品で構成されており、NYC初登場作品も8曲含まれ、新鮮味十分。ムーティが1990年のNYCで取り上げた「短いことづて」とアンコール曲を除いて、全て初めて指揮する作品で構成されています。イタリアの作曲家ロッシーニとヴェルディの歌劇の名旋律を取り入れた「ウィリアム・テル・ギャロップ」と「仮面舞踏会のカドリユー」や、ヨハン2世の「十大ワルツ」の1曲とも称されるほど人気が高く、イタリアを想起させる「南国のバラ」が取り上げられているのも、むしろムーティの故国イタリアを慮ってのことでしょう。オーストリア帝国の最後の皇帝となったフランツ・ヨーゼフ1世の息子、ルドルフ皇太子の生誕160年を記念して、皇太子の結婚に際してハンガリーの作曲家ツィブルカが作曲した「シュテファニーのガヴョット」が取り上げられているのも珍しいところ。

■リッカルド・ムーティ プロフィール

1941年7月28日、イタリア・ナポリ生まれの指揮者。ナポリ音楽院からミラノ音楽院へ移り、ヴォットーに指揮法を学ぶ。67年、グイード・カンテッリ国際指揮者コンクールに優勝。翌年、イタリア放送響を指揮してデビュー。69年にはフィレンツェ5月祭音楽祭、ニュー・フィルハーモニア管を経て、80年からフィラデルフィア管の音楽監督、86年からミラノ・スカラ座の音楽監督（のちに総監督）に就任。2010年5月、シカゴ交響楽団音楽監督に就任。オペラにオーケストラにと現代の指揮者界のリーダー的存在として知られている。」

【収録曲】

<3LP>

1. 喜歌劇「ジプシー男爵」より入場行進曲（ヨハン・シュトラウス2世）
2. ワルツ「ウィーンのプレスコ画」（ヨーゼフ・シュトラウス）
3. ポルカ「嫁さがし」作品417（ヨハン・シュトラウス2世）
4. ポルカ・シュネル「浮気心」作品319（ヨハン・シュトラウス2世）
5. 「マリアのワルツ」作品212（ヨハン・シュトラウス1世）
6. 「ウィリアム・テル・ギャロップ」作品29b（ヨハン・シュトラウス1世）
7. 喜歌劇「ボッカチオ」序曲（フランツ・フォン・スッペ）
8. ワルツ「ミルテの花」作品395（ヨハン・シュトラウス2世）

9. 「シュテファニー・ガヴオット」作品 312 (アルフォンス・ツイブルカ)
10. ポルカ・シュネル「百発百中」作品 326 (ヨハン・シュトラウス 2 世)
11. ワルツ「ウィーンの森の物語」作品 325 (ヨハン・シュトラウス 2 世)
12. 祝典行進曲作品 452 (ヨハン・シュトラウス 2 世)
13. ポルカ「都会と田舎」作品 322 (ヨハン・シュトラウス 2 世)
14. 仮面舞踏会のカドリユー作品 272 (ヨハン・シュトラウス 2 世)
15. ワルツ「南国のバラ」作品 388 (ヨハン・シュトラウス 2 世)
16. ポルカ・シュネル「短いことづて」作品 240 [アンコール] ワルツ「美しく青きドナウ」作品 314 (ヨハン・シュトラウス 2 世) ラデツキー行進曲作品 228 (ヨハン・シュトラウス 1 世) 他

ウィーンフィルハーモニー管弦楽団指揮：リッカルド・ムーティ

[録音] 2018 年 1 月 1 日、ウィーン、ムジークフェラインザールでのライブ・レコーディング

最新の一発取りライブ録音による最新のアナログ盤ということで興味を引きました。なんとと言っても、ウィーン楽友会館大ホールの臨場感が素晴らしく、いろいろなソースの中でも、もっともウィーンフィルの音を忠実に再現できているのではないかと思われま
す。放送の録画との聴き比べは、別途報告いたします。

以上